

令和6年度 安積黎明高等学校特色選抜 Q&A

1 志願してほしい生徒像について

Q1：「志願してほしい生徒像」に込めた思いを教えてください。

A1：本校は、思いやりの心「恕^{じよ}」を校訓とし、新しい時代を生き抜く豊かな知性を育む（Intellect）、共生社会に生きる共感と思いやりの心情を養う（Compassion）、未来を拓く進取の精神を培う（Challenge）を教育目標としています。本校ではこの校訓と教育目標に基づき、豊かな人間性の土台の上に、新しい時代を生きる知性と未来を切り拓く進取の精神を育むことを目指して、部活動等の自主的活動への積極的な取り組みと勉学の両立を奨励しています。このため、勉学はもちろんのこと、自主的活動においても積極的に取り組むことのできる生徒を求めたいと考え、「志願してほしい生徒像」を設定しました。

2 特色検査 A 型について

Q2：A 型を設けた理由やねらいを教えてください。

A2：本校における様々な活動の活性化に寄与してほしいという期待とともに、卒業後は積極的に地域を担い、社会に貢献できるような資質を伸ばして活躍してほしいと考え、A 型を設けました。

Q3：「その経験を生かして、本校における活動でリーダーシップを発揮する」と書かれていますが、「その経験を生かして」とはどのようなことを意味しているのですか。

A3：中学生の時に積極的に活動した部活動を本校入学後も継続するというのが分かりやすい例です。活動の経験を、本校でどのように生かすのかを明確に説明できれば、異なる部活動や他の活動分野でもかまいません。ただし、本校における活動でリーダーシップを発揮することを想定しています。

Q4：リーダーシップとは、どのようなものを意味しているのですか。

A4：リーダーシップとは、一定規模の集団内において発揮される、統率力、決断力や行動力、発想力や調整力、高いコミュニケーション能力や信頼感など様々な資質であり、集団を向上させようとする意欲や能力と考えています。

Q5：A 型で「積極的に活動し」とありますが、部活動や地域クラブ活動において役職についていなかった場合や上位大会入賞などの実績がなくても出願できますか。

A5：役職についていなかった場合でも志願できます。「積極的に活動し」とは、役職についていることや上位大会で入賞したことだけを求めるものではありません。例えば、創意工夫をして活動を行ったことや主体的に活動に取り組んだことなどがあれば積極的な活動に含まれます。

Q6：A型のプレゼンテーションの実施方法を教えてください。

A6：受験生本人が、白模造紙（788 mm×1091 mm）1枚に、手書きで発表資料を作成して、検査当日に持参してください。その中には、① 中学生時にどのように積極的な活動を行ってきたか。② 本校において、どのような活動でどのようにリーダーシップを発揮したいのか。③ ②を踏まえて、どのような高校生活を送りたいか。を記載してください。この資料を使って3分程度で試験官に対してプレゼンテーションを行います。掲示する模造紙と試験官との距離は約3mとします。この際、志願者が自身の発表のために手持ちの資料を持つことはかまいませんが、その手持ち資料を試験官に向けて使うことはできません。また、プレゼンテーションの後に質疑応答の時間を取ります。

Q7：作成する模造紙の資料に使う文字の大きさや色、形式は決まっていますか。

A7：縦置きにするという以外は、特に形式は設けていません。色や文字の大きさも自由です。「令和6年度福島県立安積黎明高等学校入学者選抜前期選抜募集要項」のなかに「令和6年度福島県立安積黎明高等学校特色選抜実施要項」のページがあります。そこに「プレゼンテーション資料作成の例」が記載してありますので、それを参考に作成してください。

Q8：資料を作成する際に、写真や、パソコンで作成した表やグラフ等を貼り付けても良いですか。

A8：資料に表やグラフ、写真等を貼ることはかまいません。ただし、貼り付けたものが模造紙からはみ出さないようにしてください

Q9：資料を作成する際にインターネット等からの引用を行って、貼り付けても良いですか。

A9：引用資料を使うことはかまいません。ただし、出典は明示してください。

Q10：プレゼンテーションで使用する模造紙の中にマス目が入っているものがあるのですが、使用しても良いですか。

A10：一般に販売されているものであれば、使用してかまいません。

Q11：プレゼンテーションの時間が3分程度とありますが、3分を超えてしまっても大丈夫ですか。

A11：3分を多少超えるのはかまいませんが、大きく超えることのないようにしてください。

Q12：プレゼンテーションをする際に、指示棒やレーザーポインターは使用できますか。

A12：使用できませんが、手の指で指し示すことはかまいません。

Q13：プレゼンテーションの具体的な評価の観点と評価方法を教えてください。

A13：入試の合否判定に係わることでありますので、詳細については公表できません。

Q14：プレゼンテーションで使用了資料（模造紙）は、評価されるのですか。

A14：プレゼンテーションを構成する要素として総合的に評価します。

Q15：提出したプレゼンテーション資料（模造紙）は返却されますか。

A15：返却できません。

3 特色検査 B 型について

Q16：なぜ B 型では、コーラス部（合唱）・吹奏楽部・クラシック部（弦楽）の 3 つの部が指定されているのですか。

A16：芸術文化活動の充実は、長年培われてきた本校教育の特質となっているものです。したがって、本校にあるこれら 3 つの音楽系部活動で中心となって活動できるような資質を有した生徒を求めます。

Q17：B 型の実技試験の実施方法を教えてください。

A17：歌唱（コーラス部）については、事前に課題曲を提示します。楽器演奏（吹奏楽部・クラシック部）についても、事前に、そして楽器ごとに、課題曲を提示します。実技試験当日は、受験生に 5 分程度で演奏してもらいます。実技は、無伴奏で譜面台は使用可とします。実技試験当日は、ウォーミングアップのための時間と場所を設定します。演奏に必要な楽器類は受験生による持参を原則としますが、持参できない場合は申し出てください。こちらで用意します。また、演奏の際に音楽活動について質問をします。

Q18：B 型での受験で、部活動での大会実績がなくても出願可能ですか。

A18：出願可能です。多くの受験生に出願してもらいたいと考えています。

Q19：特設部での活動で、B 型を受験することはできますか。

A19：活動に該当しますので受験可能です。

Q20：歌い始める前にピアノで音取りはできますか。

A20：音取りをしてから歌い始めてかまいません。

4 その他、特色選抜に関して

Q21：A 型と B 型で合格者の比率は決まっているのでしょうか。また、B 型の 3 つの部での合格者の比率は決まっているのでしょうか。

A21：いずれも、詳細については公表できません。

Q22：学力検査で傾斜配点を実施し、国語・数学・英語の得点を 2 倍にする理由は何ですか。

A22：国語・数学・英語の 3 教科の学習内容は、様々な学習活動のための基本となるものであると考えています。したがって、これらの学習の成果を重視した配点としました。

Q23：志願理由書は点数化されないとのことですが、その位置づけを教えてください。

A23：志願理由書は点数化しませんが、選抜の資料として精査し、総合的に判定します。

Q24：調査書の「特別活動等の記録」「長所・特技等の記録」欄で、何が点数になるかの基準を教えてください。

A24：合否判定に係わる内容ですので、詳細については公表できません。

Q25：特色面接において、学習の成果を問う質問はありますか。

A25：本校の特色面接（集団面接）においては、教科の学習内容に関するものなど、学習の成果を問う質問は行いません。